

---

# 虹の道

当麻 紫苑

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

虹の道

### 【Zコード】

「3573」

### 【作者名】

当麻 紫苑

### 【あらすじ】

聖域ノイフアに選ばれた少女キラは、神と人の子である青年シリウスに出会い、心を通わせてゆく。

キラ、シリウス、そして謎の青年アルフュス・ウォルフルを巡る、神と人の物語。

僕は、いつも君の幸せを願つてゐる。…人として生き、幸せになるんだよ…

## 序

僕は、君を幸せにしてあげられないよ。

うつとりするような妖しい紅い瞳を細め、あの人は遠い目をしていた。

でも、まなざしは残酷なほどにやせじくて。

どこか、ひんやりとした空気がキラの肌にまとわりつく。

キラはゆっくりと歩きながら周囲を見渡した。日の光は生い茂る木々がありでほとんど入っていない。そのせいか、昼の森なのにどこか薄暗い。生まれてきてからずっと慣れ親しんできた森のはずなのに、まるで初めての場所を歩いているような感覚にキラは違和感を感じた。

「…………？」

不意に視界に入ってきたそれを見て、キラは足を止めた。

「あ…………」

それは、奇妙な、そしてどこか妖しい雰囲気をまとっている木だった。

キラの背丈より遙に高いその巨木はうつそりとキラより三歩離れた距離にある。恐らく、この辺りの木で一番古い木なのだろう。幹の太さは大人が数人手を繋がなければ届かぬ太さだ。樹皮のほぼ全体に緑色の苔が生え、ツタが絡み合い、不思議な影をキラの足元に落としている。

そして何よりキラの目をひいたのは巨木の、丁度キラの目線をより

少し上のあたりに結びつけられている、白い勾玉だった。赤い編み紐で幹に結び付けられているそれは、変哲もなにもないただの石に見える。

キラはそっと木に歩み寄つて勾玉を眺め、少し躊躇つたがそろりと勾玉に手を伸ばし、触れた。

ひんやりとした、石独特の冷たい感触を指に感じたキラは反射的に手を引っ込かけ、ふと勾玉を凝視した。

「……！」

勾玉がいつのまにか、淡い虹色の光を放ちはじめていた。禍々しいたぐいのものではなく、その光はどこか優しい。勾玉の、キラの指が触れている部分はほんのりと温かくなっていた。光は、キラの目の前でどんどん広がつてゆく。

「え？」

キラは急に感じた、背筋を這つぞりとした感触に肩を震わせた。対照的に虹の光は輝きを増し、いまやキラの視界いっぱいに光は広がつていた。

そして。

キラは、己の身体が何かに引きずられたのを感じた。

キラは、自分が何かに宙に放りだされたのを感じた。

身体が地面に叩きつけられる覚悟をしきぎゅっと目をつぶった直後、水しぶきが上がった。

え？

水の中でキラは呆然とし、だんだん息が苦しくなつたので慌てて浮き上がりて勢いよく顔を出した。

どうやら浅瀬だったようで、七歳のキラでも立てるほど深いからじ

い。

「ふう……」

ぬれねずみになつた自分の衣を見下ろして溜息をつくと、キラの耳に聞きなれぬ、そしてどこか面白がつてこむよつた響きを含んだ声が届いた。

「あれ？君、ビルやつてこに入り込んだんだい？」

## 序（後書き）

新作です。<リンダの翼><聖戦ロイア>と同じく<双狼大陸>が舞台の物語。

二作に比べてファンタジー色が強めです。

### 登場予定人物

キラ：主人公。<森ノ民>の少女

シリウス：ルスター神と人間の女シリアの子。半神

アルフュス・ウォルフル：？？？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3573j/>

---

虹の道

2010年10月10日19時28分発行